

第12回 周りと差がつく！ビジネスマナー講座 ～IS・就活・将来に役立つマナーを徹底伝授～

日時：2019年12月10日（火）16:20～17:50

場所：経済学部204講義室

講師：ユニゾネット 加賀田瑞恵先生

今回は、マナーの講師として全国的にご活躍中の加賀田先生をお招きして、インターンシップ・就職活動・将来に役立つマナーについてお話をしていただきました。売り手市場とはいえ、面接担当者は、一緒に利益を求めていける人かどうかを見て採用の可否を判断します。その際に、第一印象は重要で、それには、マナーについて日頃から気をつけて自信を持つことが必要です。

まず、人は話しやすい人に話しかけるので、話し手を話す気にさせるような印象を与えることが大切だとのお話がありました。そして身だしなみ（相手からどう見られるか）について説明がありました。

気候に応じた服の選択、コートの持ち運び方、スーツのボタンの留め方、髪の毛の結び方、靴の手入れ、爪やアクセサリー、カバンの種類などの説明がありました。共通して言えるのは、すぐに仕事に取りかかることのできるような格好で、持ち物も華美なものよりは実用的なものを選択するということでした。

続いて、挨拶をお辞儀とともに練習しました。「挨拶」とは「自分の心を開く」と「自分から相手に迫っていく」という意味をなす2字から成っており、「あ」かるく+「い」きいきと+「さ」わやかに+「つ」ねに自分からするということが大切です。お辞儀についても、意味に応じて3段階の仕方があります。また、その際に笑顔を意識するようにします。

次に、内定を得た大学院生と4年生の3人に、面接室への入退室やリクルーターとの待ち合わせという場面設定でモデルを示してもらいました。就活中のマナーのポイントとして、3人は

- ・誰にでも挨拶
- ・良い姿勢
- ・笑顔に心がけ、視線は常に話し相手に向ける

といった事柄に気をつけたとのお話がありました。

最後に、電話対応ロールプレイングを行いました。「正確」、「迅速」、「簡潔」、「丁寧」を意識しながら、与えられた台本3種類で練習を行い、その後録音をしながら発表しました。ビジネスの電話ではテンポ良く話すことが求められており、モデルとなった参加学生はそれが十分できていたとの講評を受けました。なお、電話対応で重要なこととして、すぐ出られない場合は必ず留守番電話にしておく、通話は書けた側が先に切るが間を少し置く、途中で切れた場合はかけた側からかけ直す、ということが紹介されました。

最後に参加学生からの感想をご紹介します。

- ・電話対応や面接での挨拶など、前回の講座とはまた違った内容のことを聞くことができ、参考になりました。
- ・就職活動だけではなく、その後社会に出て行くのに必要な社会人としてのマナー等を学ぶことができ、身になった。
- ・あいさつでは、やっぱり恥ずかしさがあり、あまり声は出せなかったけど、これからはハキハキと周りの学生を第一印象で出し抜きたいです。

参加者：学生9名、教職員2名